

問 来年度の学童クラブの入所状況は

答 公設の三カ所が募集人数を超過



新政とうかい
かわの けんいち 議員

問 平成31年度、公設学童クラブにおいて、定員が超過し、入所できない児童がいると伺った。平成31年度の入所状況について伺う。

答 石神・照沼・村松学童クラブでは新たに希望された全員が入所できたが、募集人員を超える利用希望があった舟石川では11名、中丸では8名、白方では26名が入所できなかった。その方々には民間学童クラブを案内しており、定員に余裕があるため入所可能な状況である。



子どもたちが放課後安心して生活できる環境づくりが大切

問 今後、受け入れの解消に向けて、何かしらの対策を行っていく必要があると考える。その中で、全国あるいは県内で行っている、学校施設を活用した「放課後こども総合プラン」のような取り組みについて、村の考えを伺う。

答 放課後子ども教室なども含め、子どもたちが、放課後安心して生活できる環境づくりは重要な課題と考える。学校施設の一部開放も含め、関係部署と協議していく。

問 人口減少に向けた意識改革が必要

答 職員のスキルアップを推進する



新政とうかい
たけべ しんいち 議員

問 人口減少の影響は大きく、A-I化が進んでいる時代背景で、限られた予算も減少傾向が予測される。より適切な契約方式を選定していくためにも、さらなる職員のスキルアップが必要とされている。庁内の人材育成を本格的に進める時期だと思われる。一丸となり、難局を乗り越えていくことが必要な時期であり、無駄な予算を出さないためにも、全ての事業の見直しを強力に進めることが必要ではないか、考えを伺う。

答 人口減少やテクノロジーの進展の波は、経済や社会の構図を大

きく変化させるものであり、危機意識を持ち、将来を見据えた対応を先取りする必要がある。人口減少の影響やAIの進化等の社会変化に対応すべく、村の財政状況や喫緊の課題等を的確に把握し、事業のスクラップ&ビルドをより効果的に進める必要がある。職員一人一人のスキルアップを図り、限られた財源を有効活用し、継続的で安定した行政サービスの提供を推進する。

「官民データ」とは、電磁的記録に記録された情報であって、…地方公共団体により、その事務又は事業の遂行に当たり、管理され、利用され、又は提供されるもの。(第2条)

